



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月8日

東

上場会社名 株式会社東京ソワール

上場取引所

コード番号 8040

URL <http://www.soir.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村越 眞二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 宮本 幸三 (TEL) 03-5474-6617

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 平成25年9月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績 (平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	9,500	1.6	501	△12.5	569	△11.0	354	△12.6
24年12月期第2四半期	9,350	5.7	572	14.0	640	15.6	405	53.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年12月期第2四半期	19	28	—	—
24年12月期第2四半期	22	06	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	17,105	11,902	69.6
24年12月期	16,748	11,325	67.6

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 11,902百万円 24年12月期 11,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年12月期	—	5.00			
25年12月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通期	百万円 18,000	% 1.8	百万円 550	% △1.1	百万円 650	% △6.6	百万円 400	% △3.2	円 銭 21.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年12月期 2 Q	19,300,000株	24年12月期	19,300,000株
-------------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年12月期 2 Q	918,083株	24年12月期	914,448株
-------------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年12月期 2 Q	18,383,775株	24年12月期 2 Q	18,389,135株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績見通しに関する事項は、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当社は、平成24年3月14日開催の取締役会において、「株式給付信託（J-E S O P）」を導入することを決議し、平成24年6月5日付で、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）（以下「信託E口」といいます。）が当社株式 295,000株を取得しております。信託E口が所有する当社株式については、自己株式に含めて記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成25年1月1日～平成25年6月30日）における日本経済は、政府による経済政策への期待感から株価の回復や円高の是正が進み、輸出関連企業を中心に景気回復への明るい兆しが見られるものの、新興国経済の減速、円安による輸入価格の上昇など国内景気の押し下げリスクもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、雇用・所得環境の改善が実感できない中、お客様の低価格志向や販売チャネルの多様化から業種・業態を越えた競合が見られることに加え、気候変動も相まって、引き続き厳しい経営環境が続いております。

こうした状況の中で当社は、既存販路のフォーマル平場の活性化を最も重要な課題と捉え、上質な素材・シルエット表現にこだわった大人のフォーマルや汎用性を高めたフォーマルを提案するとともに、英国の老舗百貨店が長年培ってきたものをベースに現代的に洗練されたラグジュアリーブランドとして「ハロッズ」を展開するなど、高級志向のニーズに応えたブラックフォーマルウェアも強化しております。加えて、百貨店販路におけるキャリアゾーンの再構築と競争力アップを目的に、株式会社ワールドより「インディヴィ」のライセンス供与を受けるなど、ブランドポートフォリオの検証を進めました。また、多様化するマーケットへの対策として、引き続き新規顧客開拓のためのフォーマルコンセプトショップ「フォルムフォルマ」の出店をはじめ、TV通販やネット販売などへの取り組みを推進しております。

この結果、商品別の売上高は、ブラックフォーマルが62億23百万円（前年同四半期比0.7%増）、カラーフォーマルが16億66百万円（同3.2%増）、アクセサリ類が16億10百万円（同3.5%増）となりましたことから、当第2四半期累計期間の売上高は前年同四半期比1億50百万円増の95億円（同1.6%増）となりました。

利益面では、売上原価率の高い商品の伸びや値下げ販売などの影響により、売上総利益率は前年同四半期比1.2ポイントダウンの48.0%となりました。また、販売費及び一般管理費は、新規出店に伴う販売促進費や新ブランド投入に伴うロイヤリティなどの増加により、全体では前年同四半期比29百万円増（同0.7%増）となりました。その結果、当第2四半期累計期間の業績は、営業利益は5億1百万円（前年同四半期比12.5%減）、経常利益は5億69百万円（同11.0%減）、四半期純利益は3億54百万円（同12.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は171億5百万円となり、前事業年度末に比べて3億56百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少1億61百万円があったものの、投資有価証券の増加4億84百万円等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べて2億20百万円減少し52億3百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少3億7百万円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べて5億77百万円増加し119億2百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加3億17百万円や利益剰余金の増加2億61百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて、1億61百万円減少し15億87百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は5百万円（前年同四半期は2億3百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益5億65百万円があったものの、仕入債務の減少3億7百万円や売上債権の増加2億84百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は48百万円（前年同四半期は61百万円の収入）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出22百万円や敷金及び保証金の差入による支出22百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億7百万円（前年同四半期は1億2百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出93百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第2四半期の業績が概ね計画どおり推移しましたことから、平成25年2月14日公表しました「平成24年12月期決算短信（非連結）」の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,748,951	1,587,042
受取手形及び売掛金	3,151,220	3,471,751
電子記録債権	536,779	501,049
商品及び製品	3,885,698	3,789,066
仕掛品	166,320	155,764
原材料	2,087	3,119
その他	379,124	306,734
貸倒引当金	△4,963	△4,989
流動資産合計	9,865,220	9,809,540
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,987,814	1,987,814
その他(純額)	1,203,344	1,266,969
有形固定資産合計	3,191,158	3,254,783
無形固定資産	33,140	27,408
投資その他の資産		
投資有価証券	1,558,907	2,043,143
賃貸不動産(純額)	1,599,005	1,591,714
その他	502,417	380,105
貸倒引当金	△952	△949
投資その他の資産合計	3,659,378	4,014,014
固定資産合計	6,883,676	7,296,206
資産合計	16,748,897	17,105,746
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,696,676	514,173
電子記録債務	1,401,189	2,276,106
未払法人税等	208,543	251,261
返品調整引当金	399,000	418,000
その他	869,382	881,787
流動負債合計	4,574,792	4,341,328
固定負債		
退職給付引当金	555,605	537,457
役員退職慰労引当金	157,835	164,014
資産除去債務	38,339	38,689
その他	97,209	121,920
固定負債合計	848,990	862,081
負債合計	5,423,782	5,203,409

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金	3,732,777	3,732,777
利益剰余金	3,781,135	4,042,193
自己株式	△338,484	△339,470
株主資本合計	11,224,506	11,484,578
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	100,608	417,758
評価・換算差額等合計	100,608	417,758
純資産合計	11,325,114	11,902,337
負債純資産合計	16,748,897	17,105,746

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	9,350,005	9,500,340
売上原価	4,747,869	4,940,496
売上総利益	4,602,135	4,559,844
販売費及び一般管理費	4,029,336	4,058,709
営業利益	572,799	501,135
営業外収益		
受取利息	511	437
受取配当金	24,173	22,409
受取賃貸料	43,381	43,381
受取ロイヤリティ	10,909	15,678
その他	12,362	9,246
営業外収益合計	91,338	91,153
営業外費用		
賃貸費用	18,028	17,393
支払手数料	4,795	4,786
その他	1,127	499
営業外費用合計	23,950	22,680
経常利益	640,187	569,608
特別利益		
投資有価証券売却益	63,380	—
特別利益合計	63,380	—
特別損失		
減損損失	—	3,931
投資有価証券売却損	896	—
特別損失合計	896	3,931
税引前四半期純利益	702,672	565,677
法人税、住民税及び事業税	260,149	232,284
法人税等調整額	36,860	△21,068
法人税等合計	297,009	211,216
四半期純利益	405,662	354,461

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	702,672	565,677
減価償却費	59,247	65,724
減損損失	—	3,931
投資有価証券売却損益 (△は益)	△62,484	—
受取利息及び受取配当金	△24,684	△22,847
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△17,000	19,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14,533	23
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△21,766	△18,148
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,383	6,179
売上債権の増減額 (△は増加)	△320,518	△284,800
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	13,224	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	230,656	106,155
前払費用の増減額 (△は増加)	109,090	76,098
仕入債務の増減額 (△は減少)	△226,611	△307,587
未払金の増減額 (△は減少)	△57,672	△48,173
未払消費税等の増減額 (△は減少)	39,144	27,259
その他	5,047	△26,669
小計	403,428	161,820
利息及び配当金の受取額	24,684	22,847
法人税等の支払額	△225,002	△190,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	203,110	△5,635
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△7,612	△7,667
投資有価証券の売却による収入	90,156	—
固定資産の取得による支出	△20,878	△22,657
貸付けによる支出	△2,605	△4,113
貸付金の回収による収入	7,580	4,404
敷金及び保証金の差入による支出	△7,725	△22,063
敷金及び保証金の回収による収入	558	3,768
その他	1,993	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	61,466	△48,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△91,153	△93,216
自己株式の取得による支出	△566	△986
その他	△10,678	△13,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102,399	△107,964
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	162,178	△161,909
現金及び現金同等物の期首残高	1,629,390	1,748,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,791,568	1,587,042

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。